

平成25年度 見附市理科部 活動報告

部長 小林 亮

1 研修テーマ

新学習指導要領の趣旨を踏まえた理科授業の充実を目指して

2 研究の概要

研修テーマに迫るために、今年度は以下の2つの内容で夏期休業中に研修会を実施した。

- 新教育課程研修会の伝達講習による新学習指導要領を踏まえた授業展開について
- 小中連携した学習指導の在り方

3 研究の実際

- (1) 日 時 平成25年8月21日(水) 9:00～11:30
- (2) 会 場 見附市教育センター
- (3) 報告・発表 見附市立見附小学校 水越 啓彰 先生
見附市立今町中学校 松木 直子 先生
見附市立見附小学校 佐藤 毅 先生
- (4) 参加者 市内の小中学校の理科部員 18名
- (5) 研修の概要

はじめに、新教育課程研修会の伝達講習として、新学習指導要領を踏まえた授業展開についての研修をした。特に理科では、「思考・判断」の観点から「思考・判断・表現」になったことで、日々の授業をどのように変えたらよいかを、実践を紹介してもらいながら講習を行った。

次に、見附小学校の佐藤先生が理科のデジタル教科書とその活用の仕方の紹介を行った。実際の観察実験を大切にしながらも、補助的に扱うことで児童生徒の理解の助けになることを学ぶことができた。



研修の後半では、実際に太陽を観察したり、月の満ち欠けのモデルを作成したりするなどの実験研修を行った。教育センターの所員より、実験に適した教材やその作り方、活用のポイント等を紹介してもらい、研修を深めることができた。

4 成果と課題

本年度は小中理科部員のアンケートにより研修内容を決定したことで、より実態に即した研修を行うことができた。また、実践紹介や実験研修を通して小中学校の教員が互いに指導すべき内容の確認ができた。今後も互いの実践を報告・共有していくことで、小中連携した理科指導を行っていききたい。

